

エレベータージャーナル

ELEVATOR JOURNAL

No. 3

2014年10月発行

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

CONTENTS

● クローズアップ

アトラスブランズタワー三河島
一宮市役所本庁舎
エビスバルビル
KUZUHA MALL
札幌三井 JP ビルディング
東京都庁舎エレベーター改修工事

● 海外物件紹介

W広州ホテル
リーム・アイランド・プロジェクト

● 技術講座

エレベーターの超高速・
超高揚程化対応技術

● 協会記事

安全・安心の取り組みについて

クローズアップ



アトラスブランズタワー三河島

建物外観

野 島 良 之

(Yoshiyuki Nojima)

東芝エレベーター株式会社

東京支社 営業技術部

1. はじめに

「アトラスブランズタワー三河島」は、JR東日本三河島駅前の防災性の向上や地域の活性化を図るため市街地再開発組合が推進している再開発事業のプロジェクトの一つです。

敷地内には、人と人との温かなコミュニケーションを育むオープンスペースや四季の移ろいを意識できる植栽、タワー屋上には、ヒートアイランド現象を緩和し、内部への遮熱効果も期待した屋上緑化を施しています。さらに共用部分の電力使用を軽減する太陽光パネルを設置し、地上と屋上での緑化とあわせて、環境へも配慮しています。

生活施設の充実したこの街に、さらに利便性を高める商業施設、業務施設が誘致される予定で、将来に向けた街の基盤整備が進められています。

2. 建物概要

所在地：東京都荒川区東日暮里6丁目3287番31

建築主：三河島駅前南地区市街地再開発組合

基本設計・監理：株式会社 日本設計

実施設計：清水建設株式会社一級建築士事務所

施工：清水建設・工藤工務店建設共同企業体

建物用途：共同住宅、店舗、事務所、駐車場

敷地面積：3,806.96㎡

建築面積：1,935.98㎡

延床面積：36,679.97㎡

構造：RC造（一部S造）

階床数：地下1階、地上34階

建屋高、軒高：112.58m

工期：2012年2月28日～2014年9月26日

竣工日：2014年9月26日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター6台とエスカレーター2台の合計8台が設置されています。

外部から直接2階の商業施設に行き来できるように、エスカレーターが2台、また車いすのお客様を配慮してバリアフリー化を図った、シースルーエレベーターが1台、配置されています。

住宅用のエレベーターは、4台並列の全自動群管理方式を採用し、効率良くサービスを行っています。エントランス階の乗場は化粧シート仕上げ、それ以外の階は塗装仕上げとし、シンプルな設計となっています。またかご内の照明には間接照明とダウンライトを組み合わせ、落ち着いた雰囲気醸し出す空間となっています。

クローズアップ



店舗用（5号機）1階乗場



店舗用（5号機）かご室



住宅用（1～4号機）乗場



住宅用（1～4号機）かご室

エレベーター仕様（計6台）

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1～3	乗用	インバータ制御	全自動群管理方式	850	13	150	3	34 (B1, 1, 3～34)	東芝	
4	人荷兼非常用	〃	〃	1700	26	150	1	35 (B1, 1～34)		車いす仕様
5	乗用	〃	乗合全自動方式	900	13	45	1	2 (正面2, 背面1)		車いす仕様 シースルー
6	〃	〃	〃	600	9	45	1	2(1,2)		

エスカレーター仕様（計2台）

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
1	S600	透明ガラス	30	1-2階	3950	1	東芝	自動運転 (低速待機) ポールレス 屋外用
2	〃	〃	30	1-2階	3950	1		自動運転 (低速待機) ポールレス 屋外用

クローズアップ



建物外観

一宮市役所本庁舎

松川好史

(Yoshifumi Matsukawa)

菱電エレベータ施設株式会社
名古屋支店 設計部

1. はじめに

一宮市は古くから織物が発達しており、毎年7月に開催される「一宮七夕まつり」は全国的に有名です。新庁舎は、この歴史ある市のシンボルとなるように、また、「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」を基本とし、次の基本理念に基づき、設計・建設されています。

〈基本理念〉

1. 市のシンボルとなる庁舎
2. 便利でわかりやすい庁舎
3. 市民にひらかれた庁舎
4. 安全・安心な庁舎
5. 環境にやさしい庁舎

また、地震などの大規模災害に備え、免震構造を採用するとともに、停電しても72時間連続で電気を供給することができる非常用発電機を配備し、市民の安全を確保するための防災拠点としての機能が装備されています。

2. 建物概要

所在地：愛知県一宮市本町2丁目5番1

建築主：一宮市

設計・監理：株式会社 石本建築事務所 名古屋支所

施工：清水・榊原・中村特定建設工事共同企業体

建物用途：事務所（庁舎）

敷地面積：8,031.79㎡

建築面積：2,300.42㎡

延床面積：31,139.78㎡

構造：地下RC造、地上S造+SRC造

階床数：地下1階、地上15階、PH1階

建屋高、軒高：64.84m

工期：2011年10月～2014年3月（新庁舎のみ）

竣工日：2014年3月

開業日（業務開始日）：2014年5月

3. 昇降機設備

昇降機設備はエレベーター5台が設置され、その内、2台が人荷用（兼非常用）、残り3台が乗用（展望）エレベーターとして設置されています。

建物中央に設置された交通のメインである乗用（展望）エレベーターは、1階から3階まではガラス昇降路、4階から12階は建物の吹抜け部を利用したオープン昇降路となっており、建物も含め全体的に開放感があるつくりとなっています。

乗場のデザインもガラス乗場壁に合わせて大型窓を設置し、明るく、開放的なエレベーターホールを演出するとともにガラスサッシにホールランタンなどを組み込み、一体感のあるデザインとなっています。

かごにおいても開放感と明るさを重視したデザインとなっており、かご室展望窓は側面壁一部と正面壁全面に設け、天井も全面光天井のガラスクロス天井照明を採用しています。

かご室の展望窓からは七夕まつりの短冊をイメージしたデザインガラス窓が望めます。

クローズアップ



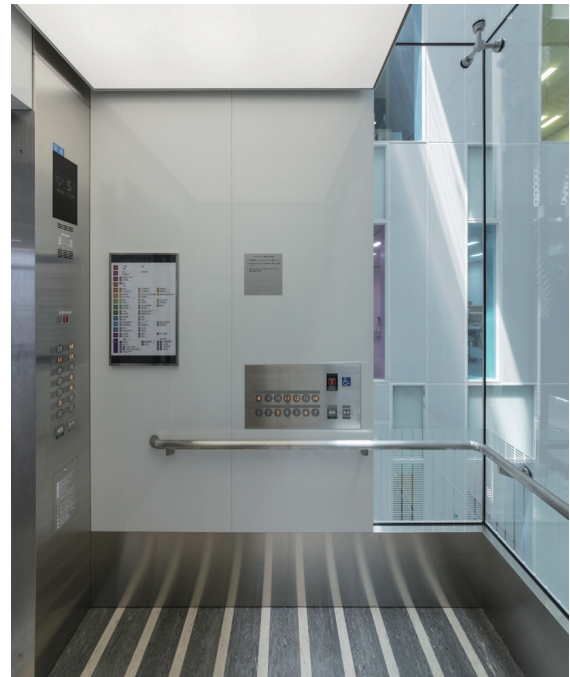
エレベーター外観



エレベーター乗場



エレベーターかご内1



エレベーターかご内2

エレベーター仕様 (計5台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	人荷用	インバーター	乗合全自動方式	1150	17	120	1	15 (B1, 1 ~ 14)	三菱	兼非常用
2	"	"	"	1700	26	120	1	16 (B1, 1 ~ 15)		"
3, 5	乗用	"	全自動群管理方式	1150	17	180	2	14 (1 ~ 14)		展望用
4	"	"	"	1250	19	180	1	14 (1 ~ 14)		展望用・車椅子仕様

※ No. 3 ~ 5 号機は 3 台群管理です。

クローズアップ



建物 外 観

エビススバルビル

仲 田 誠

(Makoto Nakata)

株式会社 日立ビルシステム

システム技術本部 システム技術第一部

1. はじめに

富士重工業株式会社の新社屋「エビススバルビル」が恵比寿（東京スバル跡地）に完成致しました。自動車業界唯一となる販売店を併設したショールームを1階に備えていることが特徴です。

エビススバルビルは、自動車で駆け抜けるような疾走感と躍動感のイメージをビルのデザインモチーフとし、外装だけではなく内装にも水平方向のイメージを取り入れたデザインとしています。

また、「機能的なオフィス空間」「安心・安全な職場環境」「環境配慮型ビル」「情報発信機能の充実」の4つをビルのコンセプトとし、「環境配慮型ビル」として、屋上緑化や人感センサーによるLED照明制御、空調千鳥制御、太陽熱利用システムによる給湯などにより、消費エネルギーは一般的なオフィスビルに対し40%程度削減しています。さらにLow-E複層ガラスの採用や太陽光発電・発熱パネルといった様々な環境設備によって省エネルギー型のビルとなっています。

2. 建物概要

所在地：渋谷区恵比寿1-20-8エビススバルビル
 建築主：スバル興産株式会社
 監理：株式会社 日建設計
 設計：大成建設株式会社一級建築士事務所

施工：大成建設株式会社東京支店
 建物用途：事務所、店舗、集会場、工場、駐車場
 敷地面積：3,938.03㎡
 建築面積：2,320㎡
 延床面積：25,100㎡
 構造：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造、
 鉄骨鉄筋コンクリート造）
 階床数：地下2階、地上12階
 工期：2012年12月～2014年6月
 竣工日：2014年7月15日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター8台、エスカレーター4台が設置されています。

テナント用エレベーター1階ホールはショールームに面しており、吹抜けとなっている天井まで出入口上のパネルが伸び開放的な空間を演出しています。

オフィス用エレベーターかご内は、天井が全面光天井で明るい空間を創り出し、壁は車の内装をイメージさせるレザー調シート貼で、金属パネルで仕上げられたホールへとつながるデザインとなっています。

エスカレーターには、上階へ伸びるラインとなるスカートガード照明を設け、建築仕上げの水平ラインとの一体感を創り出すデザインとなっています。

クローズアップ



1～3号機 オフィス用エレベーター
1階エントランスホール



1～3号機 オフィス用エレベーター
基準階ホール (1)



1～3号機 オフィス用エレベーター
基準階ホール (2)



4,5号機 テナント用エレベーター
1階エントランスホール



4,5号機 テナント用エレベーター
かご内



エスカレーター

エレベーター仕様 (計 8 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1, 2	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1200	18	180	2	7 (1, 7 ~ 12)	日立	車いす仕様
3							1	9 (B1, 1, 3, 7 ~ 12)		
4	"	"	群乗合全自動方式	1150	17	105	1	5 (1, 3, 5 ~ 7)		
5							1	6 (B1, 1, 3, 5 ~ 7)		
6	人荷用兼非常用	"	乗合全自動方式	1600	24	105	1	14 (B2, B1, 1 ~ 12)		
7	"	"	"	1600	24	105	1	12 (B2, B1, 1, 3, 5 ~ 12)		
8	荷物用	"	単式自動方式	4500	—	45	1	2 (正面 : 1, 背面 : 1, 2)	横浜	

エスカレーター仕様 (計 4 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ES-1, 2	S600	透明ガラス	20, 30 可変	1-2	4800	2	日立	無人時微速運転
ES-3, 4	"	"	20, 30 可変	2-3	4750	2		"

クローズアップ



KUZUHA MALL

建物外観

鈴木 聡

(Satoshi Suzuki)

フジテック株式会社

近畿統括本部 西サービス営業部

1. はじめに

1972年4月に京阪樟葉駅前に当時では珍しいオープンモールとして開設されたのが「くずはモール街」です。

2005年4月に新生「KUZUHA MALL」として生まれ変わり、この度の第2期開発によって約240ものショップが入居する大阪府下最大級のショッピングモールとしてリニューアルオープンしました。

このリニューアルに伴い、本館既存部には「ミドリノモール」、本館増床部には「ハナノモール」、南館には「ヒカリノモール」の愛称がつけられました。

売場面積は72,000㎡へと増床され、百貨店、総合スーパー、ファッション、インテリア、アミューズメント、シネマコンプレックス、住宅関連の専門店が構成されています。「ヒカリノモール」にはライブ感あふれるミュージアムゾーン「SANZEN-HIROBA」が設けられ、そこにデジタル動態保存されている特急車両「旧3000系」の先頭車（3505号車）が人々の注目を集めています。

2. 建物概要

所在地：大阪府枚方市楠葉花園町15-1

建築主：京阪電気鉄道株式会社

設計：株式会社 東畑建築事務所
株式会社 スペース

施工：株式会社 竹中工務店

建物用途：店舗

敷地面積：72,000㎡

延床面積：200,000㎡

構造：鉄骨造

階床数：本館増床地上5階 南館地上7階

工期：2013年2月～2014年2月

開業日：2014年3月12日

3. 昇降機設備

昇降機設備は第2期開発において、エレベーター15台、エスカレーター30台、合計45台が設置されました。

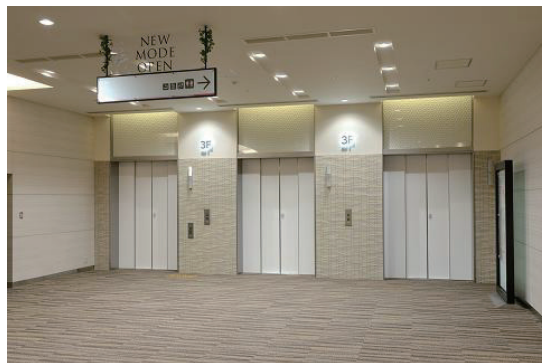
エスカレーターは足元を照らすスカートガードLED照明を採用し、明るく開放的な空間を演出しています。また、フロアプレートには矢印表示灯を設置し、安全性と利便性を高めています。

お客様用エレベーターはガラスクロス天井が採用され、全体的に白を基調としたモダンで清潔感のあるデザインとなっています。押しボタンには利用者が押しやすいように大型ボタンが採用され、大型のホールランタンを設置することにより、到着するエレベーターをわかりやすくする配慮も行ないました。また、高齢者への配慮としてかご内に腰掛けが備えられています。

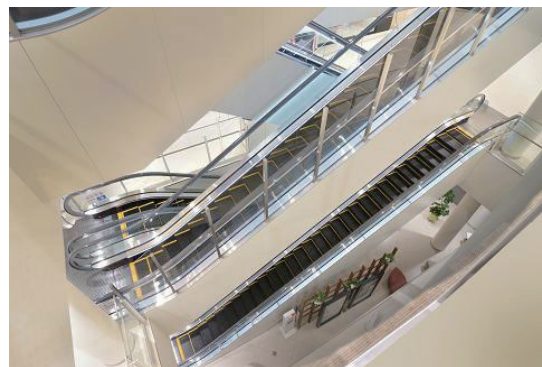
クローズアップ



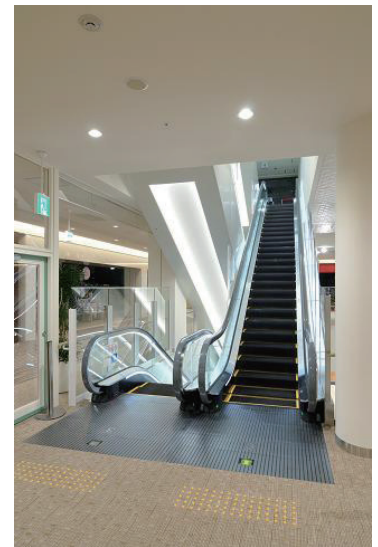
エレベーターかご内室



エレベーターホール



エスカレーター



エスカレーター乗降口

エレベーター仕様 (計 15 台)

	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
本館増床	EV13 ~ 15	乗用	インバーター	群乗合全自動方式	1600	24	60	3	5 (1 ~ 4, R)	フジテック	EV15 のみ 車いす仕様
〃	EV16	人荷共用	〃	乗合全自動方式	1750	26	60	1	5 (1 ~ 4, R)		
〃	EV17	〃	〃	〃	1750	26	60	1	5 (1 ~ 4, R)		
〃	EV18	乗用	〃	〃	1000	15	60	1	2 (1, 2)		
南館	EV1 ~ 6	〃	〃	群乗合全自動方式	1600	24	60	6	7 (1 ~ 6, R)		EV1, 4 のみ 車いす仕様
〃	EV7	人荷共用	〃	乗合全自動方式	1750	26	60	1	3 (1 ~ 3)		
〃	EV8	〃	〃	〃	1750	26	60	1	7 (1 ~ 6, R)		
〃	EV9	乗用	〃	〃	1000	15	60	1	2 (1, 2)		

エスカレーター仕様 (計 30 台)

	号機	型式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程)	台数 (台)	メーカー	備考
本館増床	ESC-F1 ~ 2	S1000 型	透明ガラス (LED 欄干照明、スカートガード LED 照明付)	20 ~ 30 可変	1-2 階	5400	2	フジテック	自動運転仕様 (微速待機)
〃	ESC-F3 ~ 4	〃	〃	〃	2-3 階	4900	2		〃
〃	ESC-F5 ~ 6	〃	〃	〃	3-4 階	4900	2		〃
〃	ESC-F7 ~ 8	〃	〃	〃	4-R 階	4180	2		〃
〃	ESC-G1 ~ 2	〃	〃	〃	1-2 階	5400	2		〃
〃	ESC-G2 ~ 4	〃	〃	〃	2-3 階	4900	2		〃
〃	ESC-H1 ~ 2	S600 型	〃	〃	3-4 階	4900	2		〃
〃	ESC-H2 ~ 4	〃	〃	〃	4-R 階	4180	2		〃
南館	ESC-A1 ~ 2	S1000 型	〃	〃	1-2 階	5800	2		〃
〃	ESC-A3 ~ 4	〃	〃	〃	2-3 階	5680	2		〃
〃	ESC-A5 ~ 10	〃	〃	〃	3 ~ 6 階	3500	6		〃
〃	ESC-A11 ~ 12	〃	〃	〃	6-R 階	4350	2		〃
〃	ESC-B1 ~ 2	〃	〃	〃	2-3 階	5680	2		〃

クローズアップ



札幌三井JPビルディング

建物外観

服部 哲也

(Tetsuya Hattori)

株式会社 日立ビルシステム

北海道支社 新設グループ システム技術係

1. はじめに

札幌のビジネスストリートであり商業ゾーンとしても賑わう「札幌駅前通」と、札幌観光名所「赤れんが庁舎（国指定重要文化財：北海道庁旧本庁舎）」や銀杏並木（土木学会選奨土木遺産）など、歴史情緒あふれる「北3条通」が交差する中心部に新たなオフィスビルが誕生しました。

地下1階から地上4階までは商業施設で、道庁エリアの歴史や美しい風景にあった「煉瓦」や「木」といった自然素材を多く取り入れた自然感ある内装デザインとなっています。

建物外観は高層から低層まで縦ラインを強調したデザインで、高さ約100mの施設全体の統一感を図っています。

2. 建物概要

所在地：北海道札幌市中央区北2条西4丁目1番地

建築主：三井不動産株式会社・日本郵便株式会社

設計・監理：株式会社 日本設計・鹿島建設株式会社

施工：鹿島建設株式会社

建物用途：事務所（約25,423.60㎡）

商業（約8,495.65㎡）

敷地面積：5,517.63㎡

延床面積：68,192.35㎡

構造：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造）

階床数：地下3階、地上20階

建屋高, 軒高：99.95m

工期：2012年4月～2014年7月

竣工日：2014年8月1日

開業日：2014年8月28日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター16台、エスカレーター8台が設置されています。

オフィス用エレベーターの配置は低層4台、高層4台の対面配置となっています。

エレベーターホールのデザインについては、建築仕上壁面は木目調、エレベーター乗場戸・三方枠・幕板にステンレスを基調とした素材を使用し、落ち着いた空間を作り出しています。

かご内に関しても、天井の4箇所を設置したダウンライトと3方向の間接照明によって照らされる壁面は、側面壁を木目調の化粧シート、背面壁をカラーステンレスブラック色、扉にブラック色の塗装を施しモダンな雰囲気を出しています。

さらに、かご背面壁の中央には床から天井まで約3mの一枚ガラスを設置しており、ガラス裏面にシルク塗装でグラデーション模様を施し、味わい深い空間を演出しています。

クローズアップ



オフィス用エレベーター 1階エントランス



オフィス用エレベーター 1階エントランス



オフィス用エレベーターかご内



オフィス用エレベーターかご内操作盤

エレベーター仕様 (計 16 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
オフィス低層	A1 ~ A4	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1600	24	210	4	10 (1, 3, 6 ~ 13)	日立	A4 車いす仕様
オフィス高層	B1 ~ B4	"	"	"	1600	24	240	4	10 (1, 3, 6, 13 ~ 19)		B4 車いす仕様
非常用	E1	人荷用兼非常用	"	乗合全自動方式	2000	30	150	1	23 (B3, B2, B1, 1 ~ 20)	東芝	
"	E2	"	"	"	1150	17	150	1	22 (B3, B2, B1, 1 ~ 19)		
商業用	S1, S2	乗用	"	群乗合全自動方式	750	11	90	2	6 (B2, B1, 1 ~ 4)		二方向出入口
"	S3	"	"	乗合全自動方式	1000	15	60	1	2 (3, 5)		車いす仕様
"	SS1	人荷用	"	"	1150	17	90	1	7 (B3, B2, B1, 1 ~ 4)		
駐車場用	P1	乗用	"	"	750	11	60	1	3 (B2, B1, 1)		車いす仕様
地下歩行空間用	K1	"	"	"	1000	15	45	1	2 (B1, 1)	日立	車いす仕様

エスカレーター仕様 (計 8 台)

バンク	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
商業用	ESC1-1, 2	S1000	透明ガラス	30	B1-1 階	6250	2	東芝	
"	ESC2-1, 2	"	"	30	1-2 階	7300	2		
"	ESC2-3, 4	S800	"	30	2-3 階	5250	2		
"	ESC2-5, 6	"	"	30	3-4 階	5250	2		

クローズアップ

東京都庁舎エレベーター改修工事



第一本庁舎外観



第二本庁舎外観

内 藤 創

(So Naito)

三菱電機ビルテクノサービス株式会社
東京支社 昇降機モダンゼーション部 設計二課

1. はじめに

東京都庁舎は、東京都の新宿副都心にある、東京都庁の本庁舎です。1988年4月着工、1990年12月完成で、第一本庁舎・第二本庁舎・都議会議事堂の3棟からなり、東京都の行政の中枢機能を担っています。旧淀橋浄水場跡地の再開発により誕生した新宿西口の超高層ビル街区の中央から西南側に位置し、西側の新宿中央公園に面しています。今回は、2014年3月に竣工した東京都庁舎（第一、第二本庁舎）内の全エレベーターのリニューアル工事について、その概要を紹介します。

2. 建物概要

所在地：東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

建築主：東京都

設計：株式会社 丹下都市建築設計

施工：【第一本庁舎】大成建設など12社JV

【第二本庁舎】鹿島建設など10社JV

建物用途：事務所

敷地面積：【第一本庁舎】14,350㎡

【第二本庁舎】14,030㎡

延床面積：【第一本庁舎】195,567㎡

【第二本庁舎】139,950㎡

構造：鉄骨構造（一部鉄筋鉄骨コンクリート造、鉄筋コンクリート造）

階床数：【第一本庁舎】地下3階、地上48階

【第二本庁舎】地下3階、地上34階

建屋高、軒高：【第一本庁舎】243.4m

【第二本庁舎】163.3m

着工：1988年4月

竣工：1990年12月

3. 昇降機設備

各庁舎内のエレベーター設置台数は、第一本庁舎42台、第二本庁舎33台、計75台です。

乗用（120～540m/minの高速・展望室行き・機械室レス）、及び人荷用、非常用と用途（種類）は多岐にわたります。改修に伴いエレベーターの省エネ化・バリアフリー化と来場者の多国化に合わせ、かご内の案内表示を四ヶ国語化しました。また、PC監視盤により多種多様な運行スケジュール管理を実施しています。

クローズアップ



【第一本庁舎】乗場



【第二本庁舎】乗場



【第一本庁舎】かご



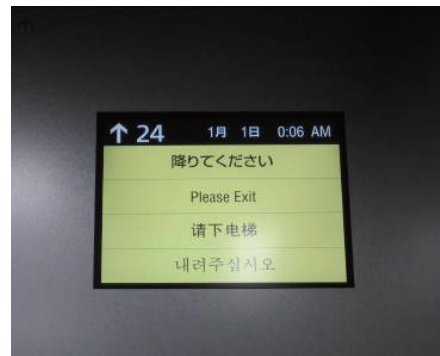
【第二本庁舎】かご



【展望室用エレベーター】かご



【展望室用エレベーター】乗場



かご内案内表示

クローズアップ

第一本庁舎 エレベーター仕様 (全 42 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
C (低層用)	1	乗用	インバーター	全自動群管理管理方式	1600	24	240	4	21 (B1, 1 ~ 16, 24, 25, 31, 32)	三菱	No. 3: 車いす仕様
	2								19 (1 ~ 16, 24, 25, 31)		
	3, 4								20 (1 ~ 16, 24, 25, 31, 32)		
D (中低層用)	5	"	"	"	1600	24	300	4	15 (1 ~ 3, 5, 16 ~ 25, 32)	三菱	No. 7: 車いす仕様
	6								16 (B1, 1 ~ 3, 5, 16 ~ 25, 32)		
	7, 8								15 (1 ~ 3, 5, 16 ~ 25, 32)		
B (中高層用)	9, 10	"	"	"	1600	24	420	4	14 (1 ~ 3, 5, 16, 24 ~ 32)	三菱	No. 9: 車いす仕様
	11								15 (B1, 1 ~ 3, 5, 16, 24 ~ 32)		
	12								14 (1 ~ 3, 5, 16, 24 ~ 32)		
A (高層用)	13 ~ 15	"	"	"	1600	24	540	4	18 (1 ~ 3, 5, 16, 24, 25, 32 ~ 42)	三菱	No. 13: 車いす仕様
	16								19 (B1, 1 ~ 3, 5, 16, 24, 25, 32 ~ 42)		
F (低層用)	17	"	"	"	1600	24	240	4	21 (B1, 1 ~ 16, 24, 25, 31, 32)	日立	No. 19: 車いす仕様
	18								19 (1 ~ 16, 24, 25, 31)		
	19, 20								20 (1 ~ 16, 24, 25, 31, 32)		
E (中低層用)	21	"	"	"	1600	24	300	4	15 (1 ~ 3, 5, 16 ~ 25, 32)	日立	No. 23: 車いす仕様
	22								16 (B1, 1 ~ 3, 5, 16 ~ 25, 32)		
	23, 24								15 (1 ~ 3, 5, 16 ~ 25, 32)		
G (中高層用)	25, 26, 28	"	"	"	1600	24	420	4	14 (1 ~ 3, 5, 16, 24 ~ 32)	日立	No. 25: 車いす仕様
	27								15 (B1, 1 ~ 3, 5, 16, 24 ~ 32)		
H (高層用)	29 ~ 31	"	"	"	1600	24	540	4	18 (1 ~ 3, 5, 16, 24, 25, 32 ~ 42)	日立	No. 29: 車いす仕様
	32								19 (B1, 1 ~ 3, 5, 16, 24, 25, 32 ~ 42)		
北展望室用	33, 34	"	"	群乗合全自動方式	1200	18	240	2	4 (1, 2, 44, 45)	三菱	No. 34: 車いす仕様
南展望室用	35, 36	"	"	"	1200	18	240	2	11 (B1, 1 ~ 3, 5, ~ 7, 9, 42, 44, 45)	日立	No. 35: 車いす仕様
駐車場用	37, 38	"	"	"	1000	15	60	2	4 (B 3, B 2, B 1, 1)	東芝	No. 38: 車いす仕様
非常用	39	人荷兼非常用	"	乗合全自動方式	2000	24	180	1	49 (B3, B2, B1, 1 ~ 32, U32, 33 ~ 45)	三菱	
非常用	40	"	"	"	2000	24	180	1	49 (B3, B2, B1, 1 ~ 32, U32, 33 ~ 45)	日立	
北保守用	41	人荷用	"	"	1100	16	60	1	4 (44, 46, 47, 48)	三菱	
南へリポート用	42	"	"	"	1100	16	60	1	4 (44, 46, 47, 48)	日立	

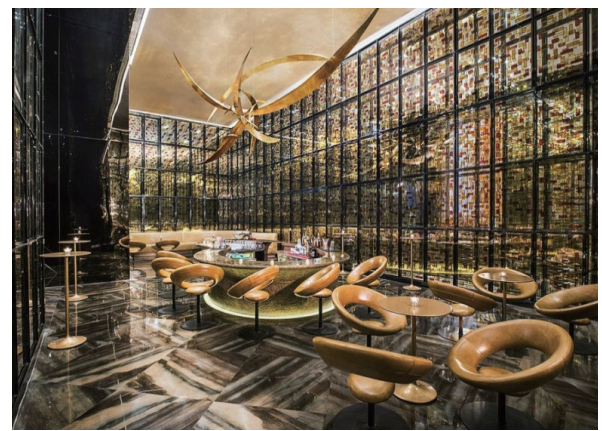
クローズアップ

第二本庁舎 エレベーター仕様 (全 33 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
C (低層用)	1	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1600	24	180	4	11 (B1, 1 ~ 10)	東芝	No. 3: 車いす仕様
	2 ~ 4								10 (1 ~ 10)		
B (中低層用)	5, 7, 8	"	"	"	1600	24	240	4	12 (1 ~ 4, 10 ~ 17)	東芝	No. 7: 車いす仕様
	6								13 (B1, 1 ~ 4, 10 ~ 17)		
A (中高層用)	9 ~ 13	"	"	"	1600	24	300	5	14 (1 ~ 4, 10, 17 ~ 25)	東芝	No. 9: 車いす仕様
D (低層用)	14	"	"	"	1600	24	180	4	11 (B1, 1 ~ 10)	三菱	No. 16: 車いす仕様
	15 ~ 17								10 (1 ~ 10)		
E (中低層用)	18, 20, 21	"	"	"	1600	24	240	4	12 (1 ~ 4, 10 ~ 17)	三菱	No. 20: 車いす仕様
	19								13 (B1, 1 ~ 4, 10 ~ 17)		
G (高層用)	22 ~ 24	"	"	"	1600	24	360	4	22 (1 ~ 4, 10, 17 ~ 25 ~ 33)	三菱	No. 22: 車いす仕様
	25								23 (B1, 1 ~ 4, 10, 17 ~ 25 ~ 33)		
F (中高層用)	26 ~ 28	"	"	"	1600	24	360	3	19 (1 ~ 4, 10, 17 ~ 30)	三菱	
駐車場用	29	"	"	群乗合全自動方式	1000	15	60	2	4 (B3, B2, B1, 1)	東芝	No. 30: 車いす仕様
	30				900	13					
非常用	31	人荷兼非常用	"	乗合全自動方式	2000	24	150	1	27 (B3, B2, B1, 1 ~ 4, U4, 5 ~ 23)	フジテック	
非常用	32	"	"	"	2000	24	150	1	37 (B3, B2, B1, 1 ~ 4, U4, 5 ~ 33)	三菱	
非常用	33	"	"	"	2000	24	150	1	37 (B3, B2, B1, 1 ~ 4, U4, 5 ~ 33)	フジテック	

海外物件紹介

W広州ホテル



建物外観と内装

久保正文

(Masafumi Kubo)

三菱電機株式会社

ビルシステム海外事業部 ビル海外計画部

1. はじめに

2013年5月に中国本土初となるW広州ホテルがオープンしました。Wホテルは、世界各地に展開する、ニューヨーク生まれのデザインを重視したホテルです。

W広州ホテルは、活気ある珠江ニュータウンの中心に位置し、広州の伝統文化と最先端の建築デザインを融合させたスタイリッシュなホテルです。このホテルのデベロッパーは、広州の有名な不動産開発業者である合景泰富不動産有限公司であり、外観は著名建築家嚴迅奇氏のデザインを採用しています。インテリアデザインについても世界的なデザイナーが競演し、それぞれのデザイナーの個性が光る特別な空間を演出しています。そのような非日常的で優雅なインテリア、高級ショップ、そしてワールドクラスのエンターテインメントで、訪れた人を歓迎します。

2. 建物概要

国：中国

所在地：広州

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーター19台、エスカレーター4台、小荷物専用昇降機2台が設置されています。エレベーターのかご内は、ブラックステンレスビーズブラスト仕上げの壁や12.1インチの液晶ディスプレイ、静電式のタッチボタンなどの現代的な仕様の中に、スピーカーの穴がWの文字にかたどられているなど遊び心のある意匠となっています。また、乗場にはシンプルな時計式アナログインジケーターが設置され、建物同様スタイリッシュなエレベーターホールとなっています。

海外物件紹介



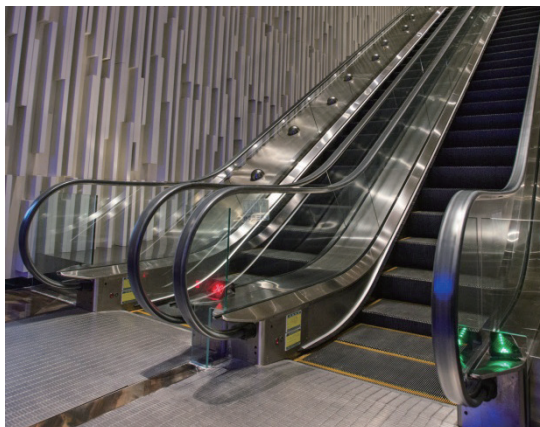
エレベーターかご内1



エレベーターかご内2



エレベーターホール



エスカレーター1



エスカレーター2

海外物件紹介

リーム・アイランド・プロジェクト Reem Island Project



建物外観

平山一成

(Kazunari Hirayama)

東芝エレベーター株式会社
海外事業本部

1. はじめに

アラブ首長国連邦 (UAE) の首都、アブダビ沖に位置する「リーム・アイランド」のマリーナスクエアに納入した昇降機をご紹介します。

本プロジェクトはUAEの国家プロジェクトとして、開発当時無人島であった「リーム・アイランド」の島全体（開発面積：633ヘクタール）を開発する計画であり、オフィスビル、住宅棟、学校、病院、ショッピングモール、ホテル、ゴルフ場など、様々な施設建設がこれからも見込まれています。

2. 建物概要

最初の開発地区である4区画（オフィス、住宅棟及び商業施設から構成される複合建築物）に分速240メートルなどの高速エレベーター64台を含むエレベーター95台とエスカレーター2台、動く歩道2台の合計99台を納入しました。近接する5区画目でもエレベーター10台、エスカレーター18台の工事中であり最終的には合計127台の

納入を予定しています。

A～D区画に建設された高層住宅棟向けのエレベーター室内はシンプルなステンレス製エッチング仕上げ。見やすい液晶モニターを採用したかご内インジケータは、かご幕板中央に配置され、居住者、来訪者の方に館内情報などを分かり易く提供できるよう配慮した機能を備えております。区画A2のオフィス棟向けのエレベーターの乗場ドアは、ステンレス製サテン仕上げの落ち着いた意匠になっています。また監視機能は、PC監視盤を各棟に設け、更にマスター監視盤も設置しており、安全に昇降機の運行を監視しています。

3. 終わりに

UAEは7首長国からなる連邦国家であり、原油と天然ガスの埋蔵量は共に世界7位。どちらも最大の輸出国は日本であり、経済的にもたいへん関わりの深い国です。これからも良好な関係を継続し、ビジネス、観光など多方面で両国の繋がりが更に深まることを祈念します。

海外物件紹介



エレベーター乗場



エレベーターかご内



動く歩道



エスカレーター

海外物件紹介

エレベーター仕様 (計 95 台)

区画	棟	号機	用途	制御方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数	メーカー
A 区画	1号棟	PL1~PL4	乗用	インバーター	1050	14	240	4	46	東芝
A 区画	1号棟	SL1	人荷用	〃	1200	16	180	1	46	
A 区画	2号棟	PL1~PL5	乗用	〃	1350	18	240	5	18	
A 区画	2号棟	PL6~PL10	〃	〃	1350	18	240	5	16	
A 区画	2号棟	SL1	人荷用	〃	1200	16	180	1	34	
A 区画	2号棟	CP1~CP2	〃	〃	1350	18	60	2	4	
A 区画	3A, 3B棟	PL1	乗用	〃	1050	14	105	2	12	
A 区画	3A, 3B棟	SL1	〃	〃	1200	16	105	2	12	
B 区画	1, 2号棟	PL1~PL4	乗用	〃	1000	14	240	8	44	
B 区画	1, 2号棟	SL1	人荷用	〃	1350	18	180	2	44	
B 区画	3号棟	PL1~PL5	乗用	〃	1000	13	60	5	2	
B 区画	3号棟	PL6~PL7	〃	〃	1000	13	60	2	5	
C 区画	CT1棟	PL1~PL5	乗用	〃	1050	14	240	5	57	
C 区画	CT1棟	SL1	人荷用	〃	1200	16	210	1	57	
C 区画	CT2, 3棟	PL1~PL4	乗用	〃	1050	14	240	8	49	
C 区画	CT2, 3棟	SL1	人荷用	〃	1200	16	180	2	49	
C 区画	CT2, 3棟	PH1 & 2	乗用	〃	750	11	60	4	3	
C 区画	CT4棟	PL1~PL4	〃	〃	1050	14	240	4	46	
C 区画	CT4棟	SL1	人荷用	〃	1600	16	180	1	46	
C 区画	CT5棟	PL1~PL4	乗用	〃	1050	14	240	4	45	
C 区画	CT5棟	SL1	人荷用	〃	1200	16	180	1	45	
C 区画	CT5棟	PH1 & 2	乗用	〃	750	11	60	2	3	
C 区画	戸建区域	CHV 1~7	〃	〃	750	11	60	7	6	
C 区画	商用区域	RS2	〃	〃	1600	21	60	1	3	
D 区画	1, 2号棟	PL1~PL5	〃	〃	1000	13	240	10	51	
D 区画	1, 2号棟	D1 : SL1	人荷用	〃	1200	16	180	2	51	
D 区画	3号棟	D3 : PL1~PL3	乗用	〃	1050	14	150	3	21	
D 区画	3号棟	D3 : SL1	人荷用	〃	1200	16	150	1	21	

エスカレーター仕様 (計 4 台)

区画	棟	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
C 区画	商用区域	TRV 1 & 2	S1000	透明ガラス	30	1-2階	4100	2	東芝	動く歩道
C 区画	商用区域	ESC 3 & 4	〃	〃	30	1-2階	5100	2		

エレベーターの超高速・超高揚程化対応技術

毛利一成
(Kazunari Mori)

石川雅洋
(Masahiro Ishikawa)

三菱電機株式会社 稲沢製作所

近年、建築技術の進歩とともに従来の高さを上回る500mを超える超高層ビルが計画されるようになり、その移動手段であるエレベーターにおいて輸送能力向上のニーズが高まってきている。輸送能力を向上させるには、一つはエレベーターの速度を上げる、もう一つはエレベーターの積載量を上げるという二つの方法がある。そこで、速度、積載量とも最大クラスの仕様で、超高層ビルにおける輸送能力向上のニーズにこたえる世界最高速エレベーター（上昇方向1080m/min、下降方向600m/min）、及び、ダブルデッキとしては世界最高速（600m/min）、さらに、世界最長昇降行程となる非常用エレベーター（昇降行程578.5m）の開発を行った。

1 概要

速度、積載量とも最大クラスの仕様で、超高層ビルにおける輸送能力向上のニーズにこたえる世界最高速エレベーター（上昇方向1080m/min、下降方向600m/min）、及び、ダブルデッキとしては世界最高速（600m/min）、さらに、世界最長昇降行程となる非常用エレベーター（昇降行程578.5m）の開発を行った。主な技術とその概要は以下のとおりである。

2 駆動制御システム

2.1 巻上機

超高速エレベーターの走行速度は1,000m/minを超え、かつ昇降行程も500m以上を想定したエレベーターシステムに対応できる超高速エレベーター用巻上機を開発した。

想定しているエレベーターシステムの仕様から巻上機は、軸荷重が1,000kNを超えても対応可能な設計としており、かつエレベーターの速度が1,000m/minを超えた領域での適用を考えていることから、下記設計を行っている。

- ・重荷重、高速回転に対応可能な大型軸受の採用。
- ・安定かつ大きな制動力の発生が可能な油圧開放式のクランプ式ディスクブレーキの採用。

- ・大出力を得られる二重三相モーターの採用。

2.2 二重三相モーター

超高速エレベーターに適した二重三相モーターを実現するために、設計にあたっては以下の条件に配慮した。

- (1) 単純三相モーターと同等のサイズであること。
二重三相のためにサイズアップすると、機械室レイアウトが悪化するため。
- (2) 制御性が良いこと。

特殊な制御を必要とすると、試験設備の新設によるコストアップ、現地での運転方法の制約増加が懸念されるため。

結線分割方式は結線のみで二重三相を実現するため、単純三相との違いが少なく製造が容易で、コスト増加が最も少ない。さらに結線方法を工夫すれば、第1群と第2群の群間での電流アンバランスによる振動を抑えることができる。

2.3 並列駆動制御盤

超高速エレベーターの駆動制御システム構成を図1に示す。

独立したコンバータ・インバータを有する駆動制御装置を2台用いる並列駆動制御方式を採用し、二重三相モーターを駆動する。

技術講座

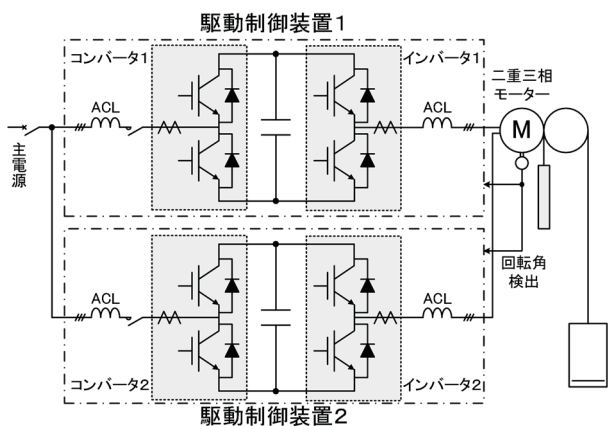


図1 超高速エレベーターの駆動制御システム構成図

駆動制御盤を組み合わせる構成により、下記に示すメリットを有しながら、大出力化を実現している。

- ・機械室内レイアウト設計の自由度向上。
- ・製作作業性や、輸送・搬入、据付作業性の向上。
- ・主要機器を量産機種と共通化し、部品入手性の安定性向上。

電力変換装置には、定格電流600AのIGBTモジュールを6個並列接続して使用した。この駆動制御装置単体で、定格速度540m/min、積載量4,000kgのエレベーターを動かす能力を持っている。

3 安全装置

3.1 安全装置の構成

超高速大容量エレベーターの安全装置の構成の概略構成を図2に示す。

かごの異常増速を検出し、かごを停止させる装置が調速機、巻上機のブレーキである。また、万が一かごを吊る巻上ロープが切断した場合でも、かごを落下させず、停止させることができる装置が調速機、非常止め装置である。

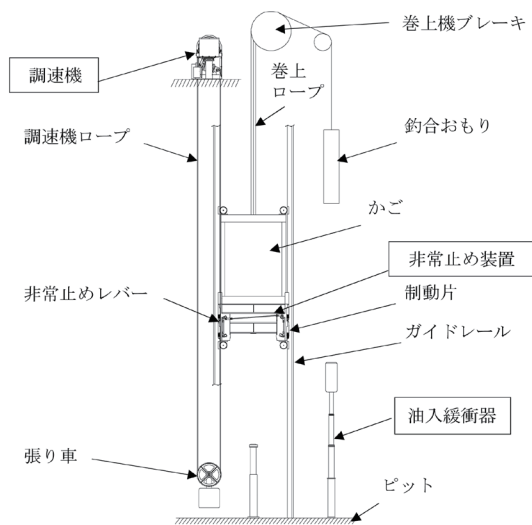


図2 安全装置の構成

3.2 非常止め装置

超高速エレベーター用の非常止め装置では、安定した高摩擦・高耐摩耗性を持ち、かつ耐熱衝撃性に優れた制動片の材料選定が重要となるため、新規開発したファインセラミック製制動片を採用した。また、非常止め装置の構造においては、適用質量の増大に対して制動片の押付力を増加させると非常止め装置が大型化するため、非常止め装置を上下2段に配置するデュプレックス形非常止め構造を採用した。

3.3 油入緩衝器

開発した油入緩衝器は、ストロークが7,300mmであり、従来の単段式で構成した場合、緩衝器全高は約20mに達する。このような長尺の緩衝器の製造や運搬及び設置するピットを掘削するコストを考えると、複数段化により緩衝器全高を短縮することは大きなメリットとなる。今回、プランジャを三段化することにより、約25%の小型化を達成した。

3.4 調速機

今回開発した世界最高速エレベーターは、上昇方向と下降方向の定格速度が異なる。調速機は遠心力を利用して過速検出動作を実施するため、従来構造のままかごの走行方向に応じて動作速度を切り換えることは難しい。そこで、上昇側と下降側それぞれの定格速度に合わせて設計した速度検出機構を綱車の両側面に配置した。また、かご上昇時に下降側速度検出機構が動作しないよう、かごの走行方向に応じて下降側速度検出機構の動作を制限する機構を設けた。

4 高揚程化対応技術

4.1 ロープ揺れ検出型管制運転システム

500mを超えるクラスの建物では、地震に比べて発生頻度の高い風による建物揺れの発生時にもエレベーターロープが建物揺れと共振して大きく揺れる可能性がある。そこで、強風や地震に対してエレベーターの安全性を確保しつつ、管制動作によるサービス低下を抑制するための新たな対応として、昇降路に配置した光センサーによるロープ揺れの直接検出機能と退避運転機能により、ロープ揺れを抑制する管制運転システムを開発した。

4.2 制御ケーブル（テールコード）

制御ケーブルは昇降路の中間部とかごの下に設けられた懸架器具（吊手）によってU字形に懸垂支持されており、かごと連動して昇降する構造となっている。

超高速エレベーターは高揚程になる場合が多いため、制御ケーブルの吊り下げ長さも大きくなること、また照明、ドア、及び付加仕様機器等の電力や駆動・制御信号を不足なく伝達するために多心化の必要性があることか

技術講座

ら、制御ケーブルの重量は増加する傾向になりやすいが、重量増は他の機器に与える影響が大きいため注意を要する。

そこで、重量増を抑制するため、制御ケーブルの外装（シース）および絶縁体に、それぞれ従来材質（ビニル材）より軽量の耐熱弾性ポリオレフィン、エチレンプロピレンゴムを採用し、従来のビニル材に比べ約20%の軽量化を実現した。

4.3 ダブルデッキエレベーターの群管理

ダブルデッキエレベーターのロビー階は常に上下2階床となり、上下のロビー階を行き来するにはエスカレーターや階段を利用しなければならないが、出勤時などの混雑時ならば単純にシングルデッキエレベーターと比べると約2倍の大容量輸送が可能となる。

ダブルデッキエレベーターの基本的な動作としては、

以下3つの運転モードがあり、交通状況に応じて使い分けを行う。

- ・ダブル運転：常に上かごを偶数階のみ、下かごを奇数階のみにかごを停止させる方式
- ・セミダブル運転：ロビー階以外から乗り込んだ利用者に対して全行先階に対するかご呼び登録が可能となる方式
- ・シングル運転：上下2つのかごのうち、どちらか一方のかごのみを利用可能としてサービスを行う方式

5 むすび

超高層ビルは今後も増加が予想され、それらに必要な不可欠である超高速・超高揚程のエレベーターのニーズも高まっていくものと考えられ、今後もこれらの開発を推進していく。

安全・安心の取り組みについて

2014年度の11月10日 「エレベーターの日」の活動について

一般社団法人日本エレベーター協会・本部事務局

はじめに

エレベーター、エスカレーターを健常な方も、障がいがある方も、高齢な方も、子ども達も、すべての方々が安全に、安心してご利用いただくために推進している2014年度の安全周知活動、及びこれから全国的に展開する11月10日の「エレベーターの日」の活動について紹介いたします。

1. 「エレベーターの日」について



当協会では、1979年の5月の当協会の通常総会においてエレベーター、エスカレーターのご利用者が安全に、安心してご利用いただくことの展開を目的として、「11月10日」を「エレベーターの日」としました。この「11月10日」は、日本で初めての電動式エレベーターが浅草の凌雲閣に設置され、公開された1890（明治23）年11月10日に因んでいます。

当協会の安全、安心キャンペーン等では、当協会のマスコットキャラクターである「ベータくん」、「エスカちゃん」が活躍しています。



2. 2014年度の安全、安心キャンペーン活動

当協会では、全国の当協会の支部及び支所、並びに本部が毎年「11月10日」の「エレベーターの日」を中心にして、安全に、安心してご利用頂くためのポスターを電車、バスの車内に広告、駅構内の掲示板等への掲出、アニメーション（動画）の駅、電車のビジョンでの放映等を各地でキャンペーンとして展開してきております。

当協会の2014年度事業計画では、エレベーター、エスカレーターを安全に安心して利用して頂くために、支部及び支所の管轄地域で広く、かつ、継続的に年間を通した活動を展開することとしており、本稿では、2014年度の活動状況、及び今後展開する11月10日の「エレベーターの日」を中心としたキャンペーン等について紹介します。

2.1 安全な乗り方の周知活動

当協会では、安全な乗り方を知っていただくために、説明するリーフレット、エレベーター、エスカレーターに貼るステッカー、アニメーション（動画）等を常設委員会で検討の上、制作しています。これらを当協会のホームページに掲載し、また資料等として頒布しております。

当協会が年間に主催する11月10日の「エレベーターの日」のキャンペーンの他に、行政等が開催する行事、鉄道事業者等が催すキャンペーンには積極的に協力しており、パネル展示、リーフレット、クリアファイル及びポケットティッシュの配布等を行っています。また、当協会会員の行事等においてはポケットティッシュの配布等を依頼しており、安全な乗り方等を多くの方々に知っていただけるように展開しております。

ホームページには、エレベーター、エスカレーターの安全な乗り方等を説明するアニメーション（動画）、ダウンロードをして使用していただくリーフレット類、当協会が頒布しているステッカー類等を掲載しております。また、「お知らせ」欄には、「エレベーターの日」等のキャンペーンの実施内容等を随時掲載しますので、ご活用ください。

2. 2 2014年度のポスターデザイン

ポスターのデザインは、常設委員会の一つである広報委員会で検討しています。2014年10月から使用するポスターのデザインには、エレベーターではかご及び乗り場のドアが動いたときに戸袋に手等が引き込まれる、またエスカレーターでは歩行による接触、転倒等が発生していることから、「エレベーターはドアから離れて乗りましょう!」、「エスカレーターは立ち止まって乗りましょう!」を採用しています。(ポスターの拡大版は27ページ)



2. 3 2014年度の「エレベーターの日」キャンペーンの詳細

「11月10日」の「エレベーターの日」のキャンペーンでは、各支部及び支所、並びに本部事務局から、鉄道事業者、空港施設会社、消防本部等にポスターの車内、駅の掲示板等への掲示、駅構内等でのアニメーション(動画)の放映、及びポケットティッシュ等の配布等をお願いし、ご賛同を得て実施いただきます。

「11月10日」を中心とした「エレベーターの日」のキャンペーンの後、2014年度末までに引き続き計画に基づき活動を展開して行きます。

2014年度の実施内容の詳細については、次の2.3.1から2.3.3のとおりです。

2. 3. 1 車内のポスター広告

エレベーター、エスカレーターの安全利用についてのポスターを鉄道車両等の吊り広告等として掲出します。

地域	期間	掲示場所	
関東	11月6日-11月10日	東日本旅客鉄道	山手線及び常磐線(各駅停車)の車内
	11月7日-11月9日	京成電鉄	京成線全線及び北総線全線の車内
北海道	11月1日-11月30日	北海道旅客鉄道	L特急スーパーカムイ車内(千歳、旭川間)
	11月8日-11月10日	札幌市交通局	札幌市営地下鉄、市電の車内
	11月4日-11月10日	札幌市交通局	市電の車内
	11月4日-11月10日	函館市企業局交通部	市電の車内
	11月4日-11月10日	旭川電気軌道	旭川市内の路線バスの車内
	11月4日-11月10日	くしろバス	釧路市内の路線バスの車内
	11月4日-11月10日	十勝バス	帯広市内の路線バスの車内
東北	11月8日-11月11日	仙台市交通局	市営地下鉄の南北線の車内
	11月5日-11月10日	仙台空港鉄道	仙台空港アクセス線
	11月5日-11月10日	東日本旅客鉄道	東北本線の車内(盛岡から一ノ関)
神奈川	11月5日-11月11日	横浜市交通局	横浜市営地下鉄ブルーラインの車内
新潟	11月1日-11月10日	越後交通	長岡市、柏崎市、三条市、燕市、加茂市、見附市、小千谷市、十日町市、魚沼市、南魚沼市及びその近接町村の路線バス車内
九州	10月1日-12月31日	福岡市交通局	福岡空港駅、福大前駅での電飾広告

2. 3. 2 掲示板等でのポスター掲出、及び駅内ビジョン等でのアニメーション（動画）の放映

鉄道事業者殿にポスターの掲出、キャンペーンなどのご協力を頂いております。なお、実施時期は、各事業者によって異なります。

事業者名	内 容
札幌市交通局	駅構内等に札幌市交通局名を記載したポスターを掲出頂きます。
札幌市消防局	掲示版等に札幌市消防局名を記載したポスターを掲出頂きます。
仙台市交通局	駅構内等に仙台市交通局名を記載したポスターを掲出頂きます。
小田急電鉄	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
京王電鉄	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
京成電鉄	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
相模鉄道	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
新京成電鉄	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
西武鉄道	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
東日本旅客鉄道	東京駅、品川駅、新宿駅、池袋駅、上野駅、松戸駅、本社及び東京支社の駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
東京急行電鉄	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
	駅内ビジョンに全国統一ポスターを表示して頂きます。
	渋谷駅及び横浜駅の構内で、リーフレット、消せる蛍光ペン、キャンペーン用ポケットティッシュを配布します。
東京都交通局	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
東京メトロ	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
東武鉄道	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
横浜市交通局	駅構内等に横浜市交通局名を記載したポスターを掲出頂きます。
名古屋市交通局	駅構内等に名古屋市交通局名を記載したポスターを掲出頂きます。
	駅構内等に全国統一ポスターを掲出頂きます。
静岡市の公立小学校	38校の校内に全国統一ポスターを掲出頂きます。
大阪モノレール	車内及び駅構内等に大阪モノレール名を記載したポスターを掲出頂きます。
	車内のビジョンにてエスカレーター安全周知のためアニメーション（動画）を継続して放映頂きます。
高松琴平電気鉄道	車内及び駅構内等に高松琴平電気鉄道名を記載したポスターを掲出頂きます。
福岡市交通局	駅構内等に福岡市交通局名を記載したポスターを掲出頂きます。

2. 3. 3 街頭キャンペーン等による呼び掛け

「エレベーターの日」に次の場所でエレベーター、エスカレーターへの安全利用を呼び掛けます。

地域	実施日	実施場所	実施内容	担当支部
札幌市	11月10日	札幌市交通局 地下鉄の大通駅構内	リーフレット、消せる蛍光ペン、キャンペーン用ポケットティッシュ（10,000セット）を配布し、安全な利用について呼び掛けをします。	北海道支部
横浜市	11月10日	横浜駅西口前	リーフレット、消せる蛍光ペン、キャンペーン用ポケットティッシュ（2,000セット）を配布し、安全な利用について呼び掛けをします。	関東支部 神奈川県支所
静岡市	11月 7日	静岡市の公立小学校（38校）	ドッチボールを贈呈し、安全な利用について周知します。	東海支部
金沢市	11月10日	JR金沢駅前（東口ドーム内）	リーフレット、消せる蛍光ペン、キャンペーン用ポケットティッシュ（各2,000）を配布し、横断幕、ポスター等を掲示し、キャラクター着ぐるみ遊歩で安全な利用について呼び掛けをします。	北陸支部
大阪市	11月10日	阪急電鉄線の梅田駅 2階及び3階コンコース	リーフレット、消せる蛍光ペン、キャンペーン用ポケットティッシュ（5,000セット）を配布し、安全な利用について呼び掛けをします。	関西支部
広島市 岡山市 高松市 松山市	11月10日	広島市の八丁堀交差点付近 岡山市のイトーヨーカ堂前 高松市の高松サンポート 松山市の松山三越前	消せる蛍光ペン（6,500本）を配布し、安全な利用について呼び掛けをします。	中国四国支部

2. 4 これまでに実施した行事

2014年度のこれまでの活動は、次のとおりです。

日付	担当支部等	行事名等	内 容
4月 5日	関東支部	昇降機の安全・安心の推進活動	成田駅にてポケットティッシュ及び蛍光ペンを各々 300個配布しました。
7月12日	本部	拡大安全大会	2013年度デザインのエレベーターの日キャンペーンポケットティッシュを100個配布しました。
7月22日から 8月31日まで	本部、各支部・支所	「みんなで手すりにつかまろう」	全国の鉄道事業42社、商業施設、森ビル、（一社）日本民営鉄道協会及び当協会が、当協会が提供した16万3000個のポケットティッシュを9社の鉄道事業者方々と当協会会員とが協力して配布しました。
7月31日	本部	ビジネスパートナー決起大会	2013年度デザインのエレベーターの日キャンペーンポケットティッシュを120個配布しました。
9月7日	関東支部	関東支部昇降機の安全・安心推進活動 (河口湖ショッピングセンター)	リーフレット2種100部、クリアファイル100部、2013年度ポスターデザインのエレベーターの日キャンペーンポケットティッシュ 100個配布しました。
9月20日、 21日	関東支部 神奈川県支所	小田原箱根まちなか博覧会 (産業まつり) 2014	昇降機の安全利用リーフレット500部、地震知識1,500部、2013年度デザインのエレベーターの日キャンペーンポケットティッシュ 500個、「みんなで手すりにつかまろうキャンペーン」ポケットティッシュ 150個、クリアファイル 500枚配布しました。

おわりに

当協会は、毎年この「エレベーターの日」を中心にエレベーター、エスカレーターへの安全なご利用を推進するキャンペーンを展開してきており、2014年度の事業計画では年間を通じて、より広範囲に展開することにしております。

健全な方も、障がいがある方も、高齢な方も、子ども達も、すべての方々がエレベーター、エスカレーターを安全に、安心してご利用いただくためのキャンペーン活動について、ご理解頂くとともに、ご協力、ご支援をお願いいたします。

みんなが気持ちよく、安全に、快適に

エレベーターは
ドアから離れて乗りましょう!



⚠ はさまれ、引き込まれのおそれがあります

エスカレーターは
立ち止まって乗りましょう!



⚠ りようちゆう ほごう げんいん
利用中の歩行は、トラブルの原因となることがあります

11月10日は
エレベーターの日

アンケートに答えて図書カードを当てよう!

締切: 2015年 1月12日

主催: ㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

- 協賛: ㊤ 北海道建築協会のセンター
- ㊤ 東北ブロック昇降機検査協議会
- ㊤ 北関東ブロック昇降機検査協議会
- ㊤ 東京都建築安全協議会
- ㊤ 神奈川県建築安全協会
- ㊤ 中部ブロック昇降機検査協議会
- ㊤ 近畿ブロック昇降機検査協議会
- ㊤ 中国四国ブロック昇降機検査協議会

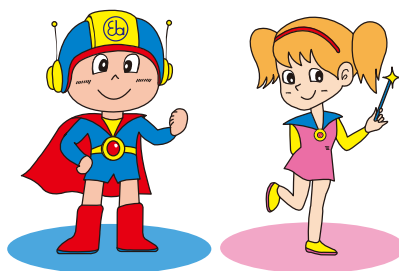
後援: 国土交通省

11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京・浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全・安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

編集後記

澄みきった青空が映える、秋風の心地よい季節になりました。本号が電子書籍となって3号目となります。

電子書籍といえば、その歴史は意外にも古く、1971年にイリノイ大学で書籍のデジタル・アーカイブ化が始まりました。日本初のデジタル書籍は「辞書」で、1985年、CD-ROMで提供された「科学技術用語辞典」だったと言われています。以降も、著名な国語辞典や六法全書などが刊行されましたが、膨大なテキストを容易に検索できる利便性が重宝されたという事でしょう。

その後はインターネットの時代になり、コンピューターはWebブラウザを標準で搭載し、Web上で書籍を購入、ダウンロードして閲覧する方法が定着していきます。書籍通販サイトの充実や、タブレット型コンピューターの普及も手伝って、本格的な電子書籍ブームが到来しました。さらにスマートフォンユーザーも利用するようになり、市場は大きく成長し、一層の発展が期待されています。

電子書籍のメリットは、紙を消費せず、スペースもとらず、経年劣化もしない事でしょう。そして場所・時間を選ぶことなく、多くの方に手軽に読んでもらえる事だと思います。

さて当機関誌の電子化にあたり、編集委員会の中でも、そのメリットを生かせるよう、様々な暗中模索がありました。今後は、業界の機関誌であるとともに、一般の方々に

も興味を持って読んでもらえるような紙面への変革が期待されています。

まだまだ創刊間もない書籍とあって、特集記事などで流動的、試験的な部分もありますが、今後も末永く「エレベータージャーナル」のご愛読をお願いいたします。

（神代 記）

ELEVATOR JOURNAL 2014年10月発行 No.3

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎山口 貴史	株式会社 日立ビルシステム
◎志賀 正己	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
近藤 雄哉	フジテック株式会社
笠原 直紀	日本オーチス・エレベータ株式会社
榎 由佳	三菱電機株式会社
堀越 隆晴	東芝エレベータ株式会社
神代 裕克	横浜エレベータ株式会社

発行者 下秋元雄

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2（第2九曜ビル）

TEL (03) 3407-6471 (代) FAX (03) 3407-2259

URL : <http://www.n-elekyo.or.jp>

㊦ 一般社団法人日本エレベーター協会